

知っておきたい 雲仙市のしごと



牧場の里あづま（吾妻町）

“つながい”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち



長崎県 雲仙市

はじめに

雲仙市では、市が1年間にどれだけの予算を使って、どのような事業を実施しようとしているのかを市民のみなさんにお伝えするため、令和5年度予算説明書「知っておきたい雲仙市のしごと」を作成しました。

本書では、各会計別の予算の概要をはじめ、雲仙市総合計画の5つの基本方針に基づく今年度の主要事業などの内容について、写真やイラストを多く使用することにより、できるかぎり読みやすく、分かりやすい内容になるよう心掛けて作成しています。

本書により、市民のみなさんが雲仙市の予算を身近に感じていただき、よりよいまちづくりのための議論の一助として有効にご活用いただければ幸いです。

財務部 財政課

雲仙市総合計画

将来像

“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち

基本方針

- ① 暮らしと安心
- ② 産業と交流
- ③ 社会基盤と環境
- ④ 人財と郷土
- ⑤ 協働と戦略

知っておきたい雲仙市のしごと もくじ

1	令和5年度雲仙市当初予算の概要	3
	雲仙市の予算を見てみよう	4
	一般会計の歳入	6
	一般会計の歳出	8
	市民1人あたりに使われるお金	10
	雲仙市の借金と貯金	11
	現在の財政状況と今後の財政運営	12
2	令和5年度主要事業	14
	①暮らしと安心の事業	15
	②産業と交流の事業	22
	③社会基盤と環境の事業	24
	④人財と郷土の事業	35
	⑤協働と戦略の事業	37
3	ゼロ予算事業	39
4	資料編	41
	(1) 雲仙市の通知表(県内13市財政状況比較表)	42
	(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	43
	(3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道	44

1 令和5年度雲仙市当初予算の概要



雲仙市の予算を見てみよう

令和5年度の雲仙市当初予算の全会計の合計は、

418億7,083万円 です。

雲仙市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計の3種類の会計があります。

お財布に例えると、使いみちや収入源の違う3種類のお財布があり、決められたルールにしたがってお金の出し入れをしています。



一般会計 基礎的な行政サービスを行うための会計

298億
27万円

一般会計とは、教育・福祉・まちづくりなど、市の基礎的な行政サービスを行う会計です。

市民税や固定資産税など、市民のみなさんが納める市税は、主にこの一般会計の各種事業に使われています。

特別会計 特定の事業を行うための会計

82億
2,847万円

特別会計とは、法律の定めなどにより、特定の事業を行うためのお金の管理を一般会計と区別している会計です。

雲仙市には、5つの特別会計があります。

国民健康保険特別会計・・・69億9,806万円 後期高齢者医療特別会計・・・5億8,797万円

国民宿舎事業特別会計・・・・・・4,654万円 温泉浴場事業特別会計・・・・・・1,103万円

企業誘致用地整備事業特別会計・・・5億8,487万円

企業会計 事業の収益で運営している会計

38億
4,209万円

企業会計とは、一般会計や特別会計と異なり、事業を行うことによって得られた料金などの収益で運営している会計です。

水道事業会計・・・・・・22億117万円

下水道事業会計・・・・・・16億4,092万円

(※両事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。)

雲仙市の特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計

自営業の人、農家の人、会社を退職した人およびそれらの人に扶養されている人などが病院などにかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



後期高齢者医療特別会計

主に75歳以上の方が病院などにかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



国民宿舎事業特別会計

国民宿舎「望洋荘」の管理を行うための会計です。



温泉浴場事業特別会計

市営共同浴場「浜の湯」の管理を行うための会計です。



企業誘致用地整備事業特別会計

企業誘致のための用地として、土地の購入や水道などのインフラ整備を行うための会計です。



水道事業会計（企業会計）

安定した飲料水の供給のために、配水管の工事や設備の維持管理を行うための会計です。



下水道事業会計（企業会計）

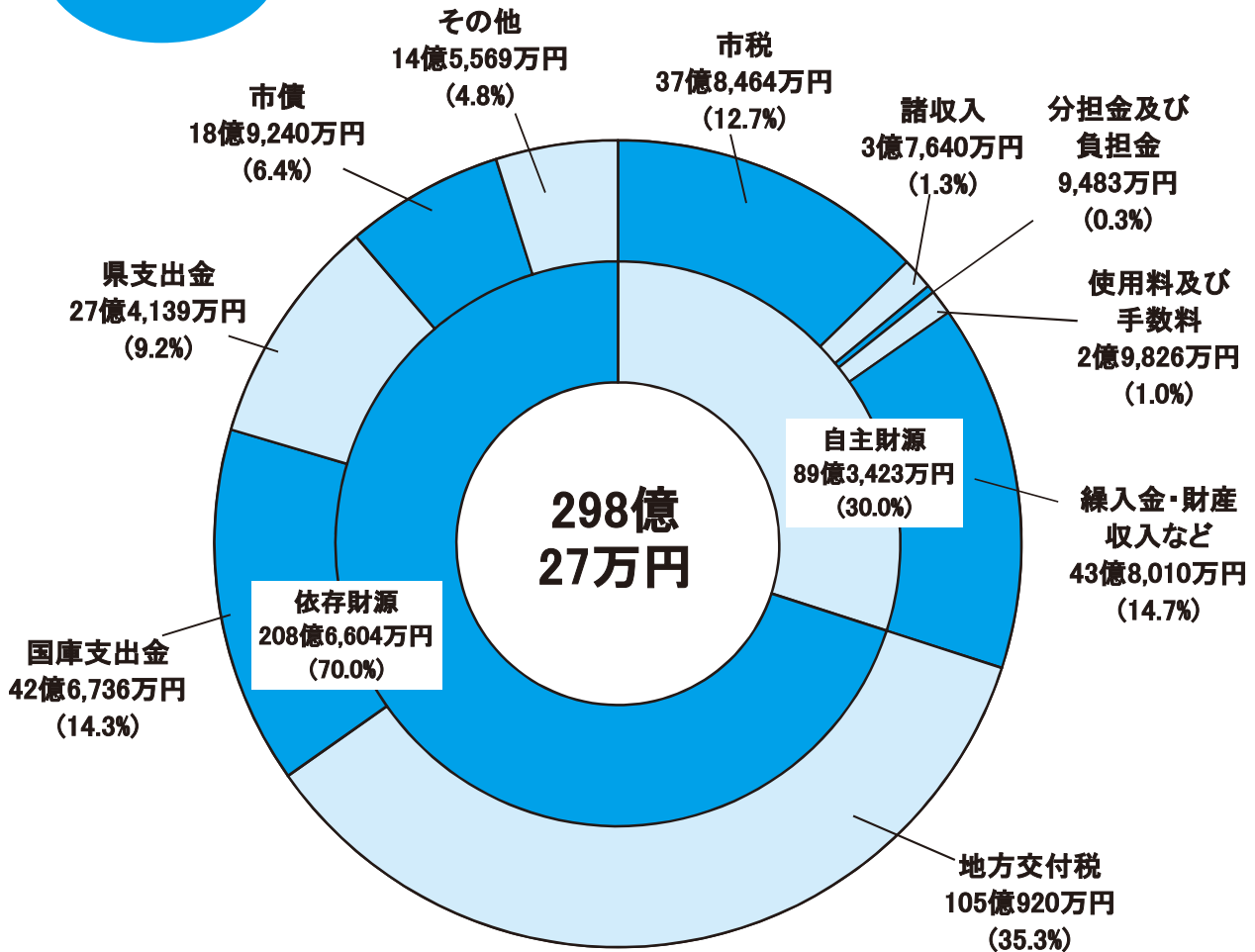
下水道施設の整備や施設の維持管理を行うための会計です。

- ・公共下水道
- ・特定環境保全公共下水道
- ・農業集落排水処理
- ・小規模集合排水処理
- ・特定地域生活排水処理



一般会計

歳入



Q. 予算とは？

A. あらかじめ計算した1年間の収入・支出の予定額のことです。



予算には、1年間のお金の使い方を決める「当初（通常）予算」のほか、当初予算では予測できなかった事などを行うために予算の追加や変更を行う「補正予算」があります。

歳入（収入）・歳出（支出）については、「一会計年度の収入のなかでその会計年度の支出をまかなう」と法律で定められていますので、会計年度のなかで計画的に運営する必要があります。

※一会計年度・・・4月1日から翌年3月31日までの期間

【自主財源】 — 市が独自に収入できるお金 —

- 市税……………個人や会社の所得に応じて支払う市民税や、土地や建物を所有する人が支払う固定資産税など、市民のみなさんが市に支払う税金
- 諸収入……………貸付金元利収入や宝くじ配分金など他の歳入科目に属さないお金
- 分担金及び負担金……市が行う事業などにより、特に利益を受ける人から徴収するお金（老人ホーム入所者や保育所の保護者負担金など）
- 使用料及び手数料……市のホール・体育館や市営住宅などの公共施設の使用料や、住民票の交付手数料など
- 繰入金・財産収入……各種基金（貯金）の取り崩しなどにより繰り入れるお金や、市が所有する財産（土地など）を貸し付けたり、売り払ったりすることなどにより得るお金

【依存財源】 — 国や県からもらうお金や銀行などから借りるお金 —

- 地方交付税……………国民が一定水準の行政サービスを公平に受けられるよう、所得税や酒税などの国税の一部をもとに、市の人口規模などに応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金……………国が認めた特定の事業などに対して国から交付されるお金
- 県支出金……………県が認めた特定の事業などに対して県から交付されるお金
- 市債……………道路整備といった建設事業などを行うために、国や銀行などから借り入れるお金

Q. 予算はどのようにして決まるの？

A. ①～⑦の順序に従って事務が行われ、予算が成立します。



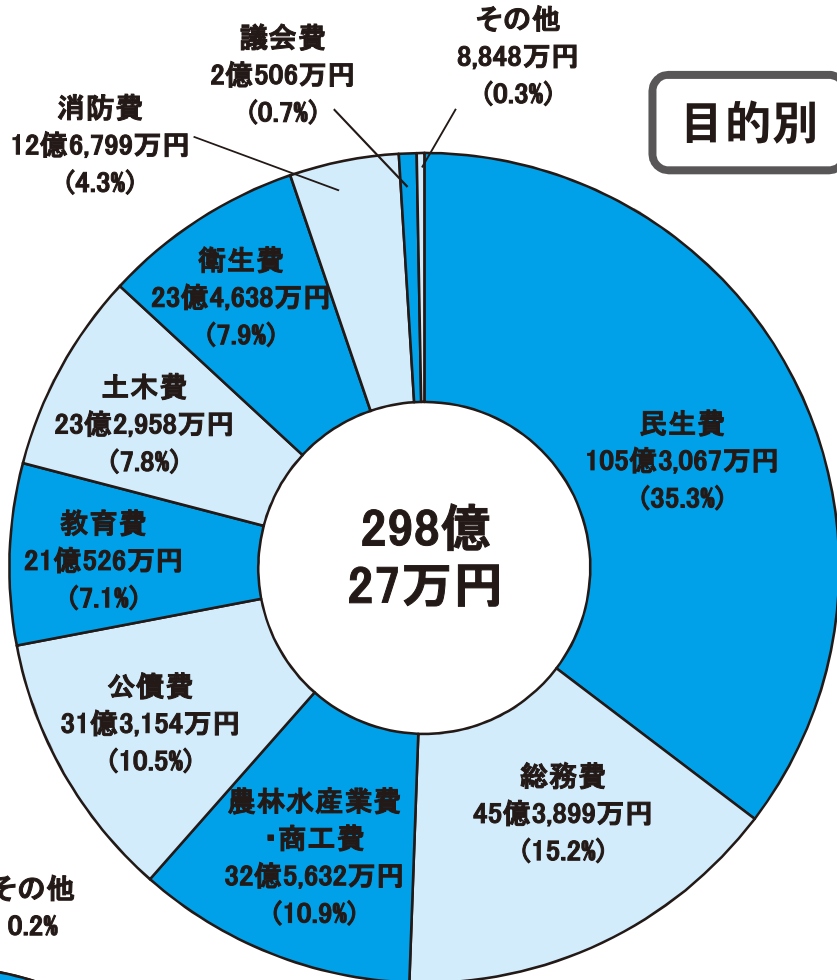
①予算編成方針の作成（10月下旬頃）→②各部局が要求書を提出（11月中旬頃）→③査定（11月下旬～1月）→④予算案の作成（2月上旬頃）→⑤議会への提出（2月下旬頃）→⑥議会の議決（3月下旬頃）→⑦成立

①まず、次の1年間に何をするか、基本的な考え方を財政課が提案します。②次に、①をもとに各部局が新規・継続・廃止の事業を決めて必要な金額を計算します。③④要求された予算について、財政課が各部局の担当者へ聴き取りを行い、財政状況、事業の必要性・効率性などの見地から審査を行います。その後、財務部長・副市長・市長の審査を受け、予算案を作成します。⑤⑥⑦市議会での議論を経て最終的に決定されます。

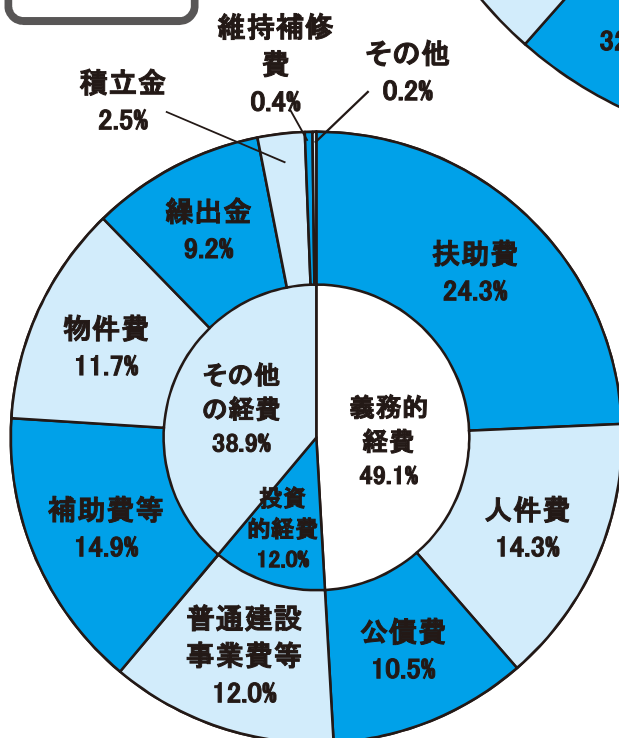
歳出

一般会計

目的別



性質別



-
- 民生費……………福祉サービスのために使われるお金
(高齢者・障がい者の支援、保育施設などへの給付など)
 - 総務費……………基礎的な行政活動や企画調整などのために使われるお金
(自治会活動の支援、移住定住、市有地・建物の管理、選挙経費など)
 - 農林水産業費……農業・林業や水産業の振興のために使われるお金
(農道や用水路、漁港の整備、基盤整備、後継者の育成、稚魚放流への補助など)
 - 商工費……………商業振興や観光などのために使われるお金
(中小企業者への資金貸付、企業誘致、観光イベント開催補助など)
 - 公債費……………過去の建設事業などのために借り入れた市債(借金)返済のために使われるお金
 - 教育費……………学校教育や生涯学習・スポーツ振興などのために使われるお金
(小中学校やホール、スポーツ施設の運営・管理、各種講座・講演会の開催、文化財の保護など)
 - 土木費……………道路・水路や公園の整備などのために使われるお金
(道路の新設・改良、河川改修、市営住宅の管理など)
 - 衛生費……………健康づくりや環境衛生などのために使われるお金
(健康診断、予防接種、ごみ処理などの費用)
 - 消防費……………消防・防災のために使われるお金
(消防署運営費の負担、消防団の活動費用、防火水槽の整備など)
 - 議会費……………議会運営のために使われるお金

Q. 目的別歳出、性質別歳出とは？

A. 行政目的から見た歳出、経済的性質から見た歳出のことです。



- 【義務的経費】
職員や議員などの人件費、借金の返済、福祉、医療など、毎年支払う必要があるお金
- 【投資的経費】
学校、道路、庁舎などの整備や災害復旧にかかるお金
- 【その他の経費】
特定の事業を支援するための補助金など上記以外の市民サービスに必要なお金

市民1人あたりに使われるお金

令和5年3月31日現在、雲仙市の人口は、41,447人です。

一般会計予算について、市民1人あたりに、どれくらいのお金が使われるのか表してみました。

民生費

(福祉サービス)

25万4,080円



農林水産業・商工費

(農業、林業、水産業など)

7万8,570円



公債費

(市債返済)

7万5,560円



衛生費

(健康づくり、環境衛生など)

5万6,610円



市民1人あたり総額

71万9,000円

土木費

(道路、水路、公園整備など)

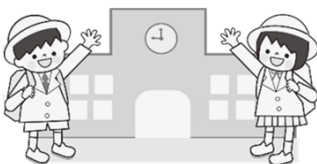
5万6,210円



教育費

(学校教育、スポーツ振興など)

5万790円



その他

(行政運営、消防・防災など)

14万7,190円



雲仙市の人口

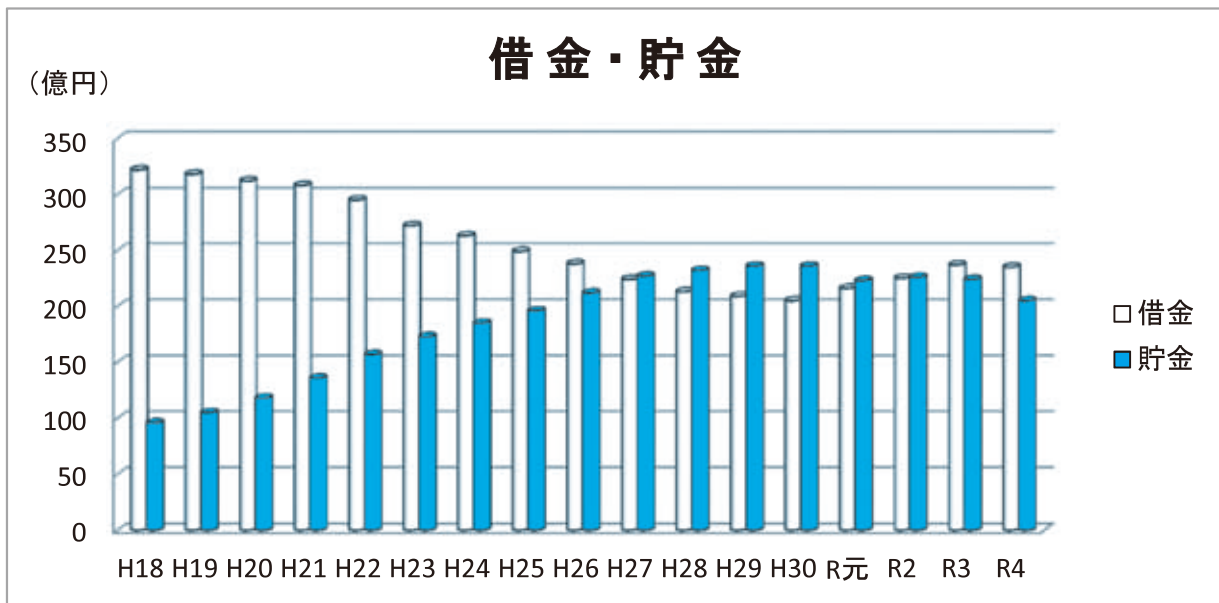
(令和5年3月31日現在)

男性 19,782 人

女性 21,665 人

合計 41,447 人

雲仙市の借金と貯金



※H18～R3は決算、R4は決算見込みの金額

市民1人あたりの借金
56万5,833円

市債

市債(地方債)と言われるものですが、自治体が学校・道路・橋などを整備する資金を調達するために、国や銀行から借り入れるお金です。多額の出費がある場合や、将来の世代にも経費を負担させることが公平な場合などに借り入れることができます。

市民1人あたりの貯金
49万5,058円

基金

積立金(基金)と言われるものですが、一般の家庭において、出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えています。

〈雲仙市の予算の特徴〉

本市では、健全な財政運営を目指して、借金の残高をできるかぎり増やさないようにしつつ、将来の出費などに備えるために計画的に運営にあたっています。

借金(市債)については、繰り上げ償還(返済期日より早く返すこと)などにより、残高の抑制に努めています。また、合併特例事業債などの市債は、返済額のうち一定額を国から交付してもらえる有利な市債です。市では、そういった市債の割合を多くして、実質的な負担が少なくなるように努めています。

一方、貯金(積立金)については、継続的に運用益を積み立てており、財政規模に対する貯金の割合は、県内他市と比較すると多い方に位置しておりますが、令和元年度に初めて前年度より減少しました。このままの状況でいきますと、基金が枯渇する恐れがあることから、基金を取り崩さずに財政運営ができるよう、徐々に歳出予算規模を縮小していくこととしております。



～ バランスのとれた収入と支出を目指して ～

雲仙市の収入の大半（約7割）は、国や県からもらう補助金や地方交付税などになります。その中で、最も大きな収入の「普通交付税」は、合併した市の特例として、15年間（平成18年度から令和2年度まで）は、本来の額より多くもらっていました。

多くもらっていた期間には、特例が終了した後に収入が不足する場合に備えて、収入のうち支出を上回った分のお金を貯金していましたが、令和元年度には収入の不足が発生し、それから毎年、貯金を使って収入不足を補いながら、市の運営を行っています。

今のまま、貯金を使いながら運営をしていくと、十数年後には、貯金が無くなってしまいます。

なお、市や県などの地方公共団体では、国のように収入不足を埋めるための借金はできないことになっています。

収入不足は、貯金で補うしかありませんので、市として運営していくためには、貯金が無くなってしまう前に、収入を増やすか、支出を抑えていくしかありません。

貯金が無くなってしまう直前や無くなってしまってから、市民の皆さんへのサービスを急激に低下させてしまうことは、避けなければいけません。そうならないためには、今のうちから、収入に見合った支出にしていくために、収入を増やしたり、支出を抑えたりする必要があります。

また、雲仙市は、7つの町が合併してできた市ということもあり、人口や産業などが同じような市と比べると、道路や公共施設が多く、それらの維持管理や改修などの費用が、今後、多くかかってくるが見込まれます。

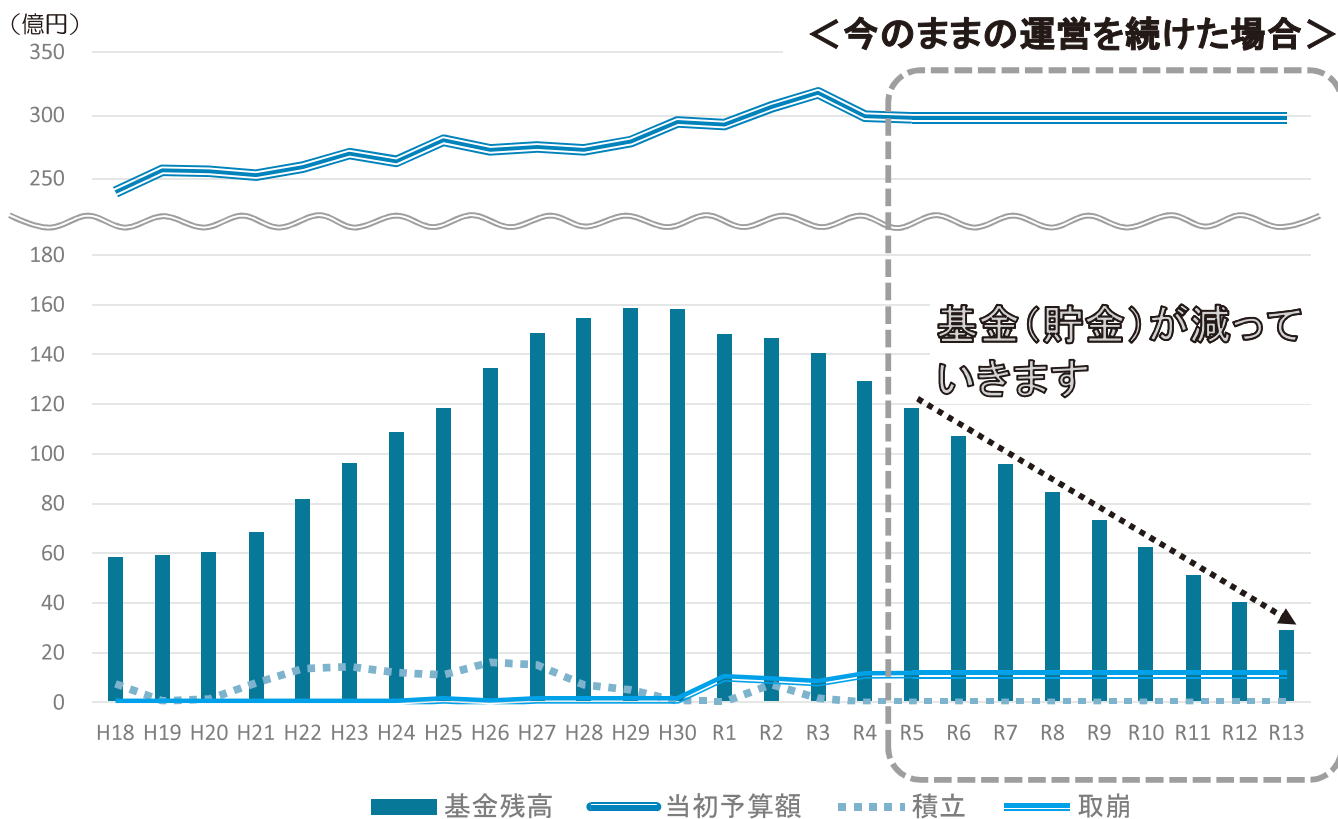
そのようなことから、雲仙市の将来を見据え、公共施設を統合したり、削減していくことなどを進めるとともに、事業の見直し（統合、段階的削減、廃止）などを計画的に進めていくことにしています。

<解説>

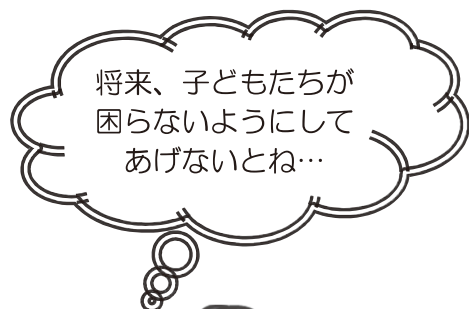
※地方交付税には、普通交付税と特別交付税があり、普通交付税は、全国一律の基準に基づいて計算した額をもらうもので、特別交付税は、地域の特別な事情に応じた額をもらうもの。

※雲仙市がもらった普通交付税の額は、平成25年度に約127億円だったものが、令和4年度には、約108億円になっています。

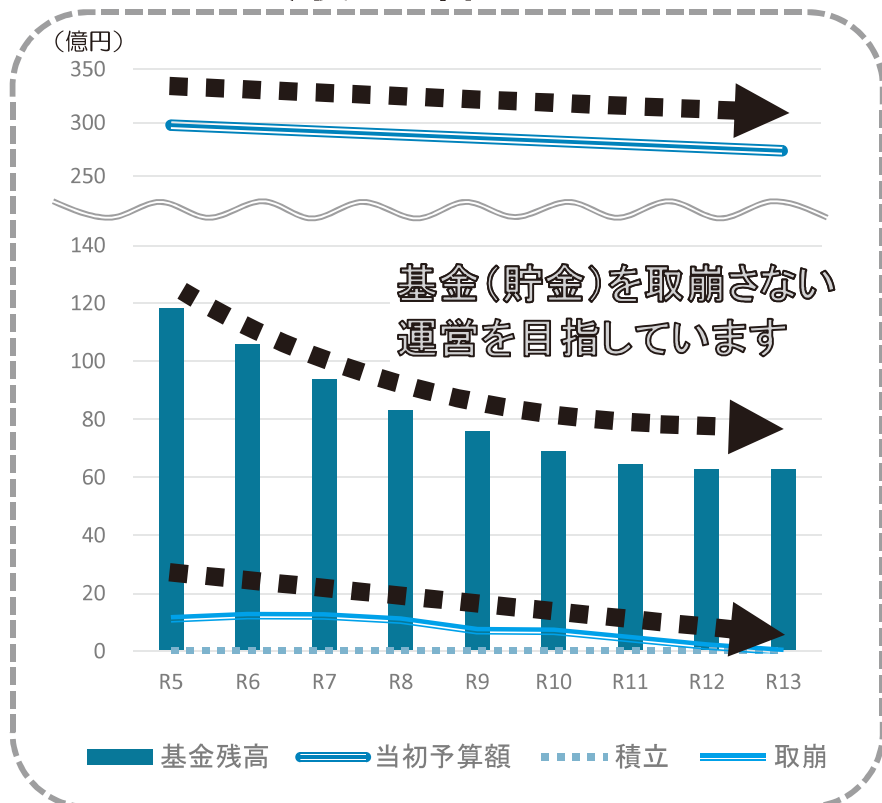
当初予算額と基金（貯金）の推移



※ここでいう「基金（貯金）」とは、主に
収入不足を補うための基金（財政調整基金、
減債基金）のことです。



＜今後の運営＞



2 令和5年度主要事業

●雲仙市総合計画の5つの基本方針

本市では、「“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち」を将来像として、その実現化のために以下の5つの基本方針を設定し、それに沿って様々な事業に取り組んでいます。令和5年度に実施する主な事業について、各方針別にご紹介します。

- ①暮らしと安心 …… 安心して子どもを産み育てるまちづくり
と健康で安全な暮らしづくり
- ②産業と交流 …… 雇用を生み出す産業づくりと人を呼び込む
観光地域づくり
- ③社会基盤と環境 …… 社会基盤の整備と自然環境と調和したまち
づくり
- ④人財と郷土 …… 将来を担う人財づくりと歴史と文化が輝く
郷土づくり
- ⑤協働と戦略 …… 市民一人ひとりが主役の協働のまちづくり
と効率的で戦略性をもった行財政運営



(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

本市に住んでいる人や、これから住みたい人のための支援を行います。
これにより、人口減少対策や地域コミュニティの維持・活性化を図ります。

●事業内容

○定住促進奨励補助金

満55歳以下の方が住宅を取得した場合に支援します。

(新築住宅)

固定資産税額の1/2相当額(上限10万円)

+子ども1人あたり1万円(5ヶ年間)

(中古住宅)

取得金額または10万円のいずれか低い方+

子ども1人あたり1万円(1回)



○若者Uターン家賃補助金

市外から転入した18歳~35歳の方が本市にある住宅を借りたとき、家賃の1/2(最長2年間)を支援します。

上限額(月)：単身世帯1万5千円、複数世帯2万5千円

○定住促進奨学資金償還補助金

本市に住んでいる人が返済している奨学金の1/2(最長10年間)を支援します。

上限額(年)：高等学校3万6千円、専門学校等4万5千円、大学等6万円

○地域産業雇用創出チャレンジ支援事業移住支援金

東京23区に在住または勤務をする人が本市に移住して、就業や創業、関係人口等の要件を満たした場合に支援金を交付します。

単身：60万円 複数世帯：100万円+子ども1人あたり100万円

○移住促進空き家リフォーム補助金

市外から転入する人が空き家バンクの物件を買ったり借りたりした場合、所有者や利用者または空き家活用団体に対しリフォーム費用の1/2(上限50万円)を支援します。

※空き家活用団体の場合2/3(上限100万円)

○空き家等情報登録制度(空き家バンク制度)

空き家情報を市のホームページに登録し、空き家を貸したい(売りたい)人と空き家を借りたい(買いたい)人をマッチングします。

○空き家バンク登録奨励金

空き家バンクに登録し契約が成立した場合、空き家の所有者や空き家活用団体に対し5万円の奨励金を交付します。

○空き家活用促進奨励補助金

空き家バンク制度を利用するときに、空き家の状態の調査費用(7千円)や、家財道具の片付け費用(上限10万円)、仲介手数料(上限10万円)を支援します。

○高校生寮費等支援補助金

市内の高等学校に入学する生徒を確保し、学校の存続による地域活性化等を図るため、市内の高校生の寮費等(生徒1人あたり5千円/月)を支援します。

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

人口減少対策として、出会いから結婚、出産まで切れ目ない支援を行い、定住人口の増加と、出生数の改善に向けて婚姻数の増加を図ります。



●事業内容

<出会いに関する支援>

- お見合いシステム登録促進補助金
長崎県婚活サポートセンターが運営する会員制データマッチングシステム、「お見合いシステム」の登録料1万円を全額支援します。
- 婚活支援事業補助金、婚活支援広報事業
婚活イベントの開催経費を支援します(補助対象経費の2/3、上限10万円)。
また、SNSなどでイベントの周知を行います。

<恋愛に関する支援>

- カップル応援事業
出会いから結婚までサポートする人を「雲仙市世話やき隊」として登録し、独身男女が結婚に至るまでサポートします。活動が結婚に結びついたら、世話やき隊に対して1組につき10万円を交付します。

<結婚に関する支援>

- 結婚・定住支援金(結婚支援金)
婚姻時の年齢が、ご夫婦ともに42歳未満の場合、またはご夫婦の両方もしくはいずれかが42歳以上のご夫婦で対象期間中にお子様の出生があった場合に40万円の支援金を2年間に分けて交付します。
- 結婚新生活支援事業
結婚に伴う新居費用や引っ越し費用などを支援し、新婚生活スタート時の経済的な負担を軽減します。
上限額：29歳以下の人 60万円、30歳以上39歳以下の人 30万円

<出産に関する支援>

- 結婚・定住支援金(赤ちゃん支援金)
お子様の出生があった場合に20万円の支援金を交付します。



①暮らしと安心

関係人口創出事業

1,399万円

(担当：総務部 政策企画課)

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、本市と多様に関わる「関係人口」を創出し、新たな交流による地域の活性化および本市への移住・定住の促進を図るための事業を実施します。

●事業内容

- 一定期間、地域おこし協力隊員として本市での活動や生活を試行的に体験できる「地域おこし協力隊インターン生」を募集します。
- 関係人口の創出を図るための企画等を行う「地域おこし協力隊」を募集します。
- 地域おこし協力隊員が行う起業等に対する支援を行います。
- 都市部在住者を対象とした関係人口創出イベントを実施します。



昨年度の関係人口創出イベントの様子

①暮らしと安心

子どもの遊び場整備事業

1,736万円

(担当：総務部 政策企画課)

子育て環境を充実させ、本市への移住・定住を促進するため、既存施設の活用を基本とした全天候型施設や他の施設との併用・連携を図った、子どもの遊び場の整備に向けて、基本計画を策定します。

●事業内容

- 子どもの遊び場の整備に向けた基本計画を策定します。



①暮らしと安心

障害者自立支援給付事業

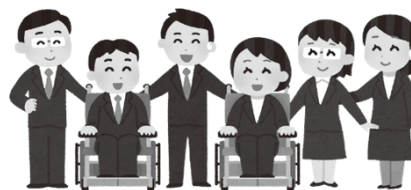
19億4,395万円

(担当：健康福祉部 福祉課)

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき、障がい者や障がい児に対して、能力や適性に応じて、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの給付を行います。

●事業内容

- ①自立支援給付費
(サービスの種類)
 - ・介護給付費
居宅介護、同行援護、生活介護、短期入所など
 - ・訓練等給付費
就労移行支援、就労継続支援A型・B型など
 - ・地域相談支援給付費
地域移行支援、地域定着支援
- ②補装具給付費
補装具の購入、修理及び貸し出しに要する費用について給付を行います。



①暮らしと安心

短期集中型通所サービス事業【新規】

567万円

(担当：健康福祉部 福祉課)

簡易な援助を必要とする高齢者が、短期集中型通所サービスを利用することで生活機能を改善し、本人の状態等に応じた介護予防プログラムに移行する動機づけを行います。また、運動機能向上・認知機能向上の複合プログラムを実施し、効果的に心身機能・認知機能の維持向上を図り、介護予防を推進します。

●事業内容

- 運動機能向上プログラム
 - ①集団によるストレッチング・バランス運動・筋力向上運動
 - ②リハビリ専門職の指導による個別プログラムの実施
 - ③身体機能測定（初回・中間・最終）
- 口腔機能向上プログラム・認知症予防アクティビティプログラム
- 介護予防ファイルの活用によるセルフケア定着支援
- 週1回×基本的なサービス期間4か月（最長6か月）
通所時の送迎あり。



①暮らしと安心

出産・子育て応援事業

2,736万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるように、妊娠届出時から妊産婦に寄り添い、面談等により必要な支援につなげる伴走型相談支援と併せて、妊娠届と出生届後に経済的支援を行います。

●事業内容

伴走型相談支援として、保健師または助産師による面談を妊娠届時（必須）、妊娠8か月時（希望者のみ）、出生届後（必須）の3回実施し、次の経済的支援を行います。

【出産応援】

妊娠届を出された妊婦へ5万円

【子育て応援】

出生届を出された産婦（養育者）へ出生児1人につき5万円



①暮らしと安心

医療的ケア児保育支援事業【新規】

2,238万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

医療的援助を必要とする児童（医療的ケア児）が保育所等の利用を希望する場合に、保育所等の受け入れ体制を整備することによって、医療的ケア児に対する地域生活支援の向上を図ります。

●事業内容

保育所等において、看護師等を配置し、医療的ケアに従事させることや、保育士等が医療的ケアを行うために必要な研修を受講するための支援を行うことによって、医療的ケア児の受け入れを可能とする体制を整備します。



①暮らしと安心

送迎用バス安全装置導入支援事業【新規】

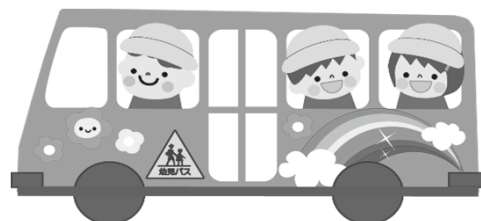
600万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

送迎用バスへの置き去り防止を補助する安全装置の導入義務化に伴い、保育所等が行う安全装置導入を支援することによって、子どもの安心・安全を確保します。

●事業内容

車内での幼児の見落としを防止するブザーなどの安全装置導入のための支援を行います。



①暮らしと安心

消防施設維持管理事務費

5,058万円

(担当：総務部 市民安全課)

消防車両や消防詰所などの消防施設の維持、管理を行うとともに、令和5～6年度に、小浜町マリーナにヘリポートを整備し、市民の安全・安心の向上を図ります。

●事業内容

○消防施設の維持、管理
消防車両の車検、消防詰所等の維持管理、消防ホース等を購入するとともに、老朽化した詰所や防火水槽の撤去を行います。

○ヘリポート整備
ヘリポート建設に向けて測量設計、立木等補償調査を行います。



ヘリポート整備予定地

①暮らしと安心

防災対策システム整備事業

1億3,007万円

(担当：総務部 危機管理課)

高波や河川の氾濫などのおそれがある箇所を監視する防災カメラを設置し、常時監視できる体制を構築するとともに、災害対策業務の充実と効率化を図るため、テレビ会議システム、雨量観測システムなどの整備を行います。

●事業内容

- 市内危険箇所への防災カメラの整備
- 各総合支所および近隣自治体、消防署とのテレビ会議システムの整備
- 雨量観測システムの整備
- 聴覚障がい者用文字表示戸別受信機の整備



②産業と交流

雲仙市水産振興奨励事業

657万円

(担当：農林水産部 農漁村整備課)

稚魚や稚貝の放流事業などの各団体への支援や藻場再生の取り組みを行い、海の資源回復や環境改善を図るとともに、老朽化したり不要となったりした漁船の廃船処理を支援し、漁港の適正管理に努めます。

●事業内容

- 広域種苗放流事業
- 水産業経営改善推進事業
- 藻場再生事業
- FRP漁船廃船処理事業



②産業と交流

みんなで磨く！観光まちづくり推進事業

5,265万円

(担当：観光商工部 観光物産課)

長崎県と連携し、地域が主体的に地元の魅力に磨きをかけながら賑わいの創出につなげるための観光まちづくりに関する事業を支援します。

●事業内容

市内観光事業者が行う、観光客の滞在時間の延長に向けた、市内周遊の促進、新しい観光体験の開発やルート開発等の磨き上げ事業に対し、補助金を交付します。

(負担区分) 県2/4、市1/4、事業主体1/4



③社会基盤と環境

地域情報化推進事業

1,012万円

(担当：総務部 行革推進課)

日常生活において、市民の誰もが情報化社会の恩恵を受けられるように、デジタル化を推進します。

●事業内容

- 公民館を拠点とした相談窓口によるデジタル活用支援の実施
- 情報機器に不慣れな方を対象とした講習会の開催
- 日常生活や行政手続きなどの疑問に迅速かつ柔軟に対応するAIチャットボット（人工知能を活用した自動会話プログラム）の活用
- 地域活性化起業人制度を活用した都市部に所在する民間企業の社員の受け入れと地域情報化の推進

③社会基盤と環境

地球温暖化対策事業

1,194万円

(担当：環境水道部 環境政策課)

「ゼロカーボン・うんぜん」（2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガス「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること）の実現に向けて、地球温暖化対策を実施します。

●事業内容

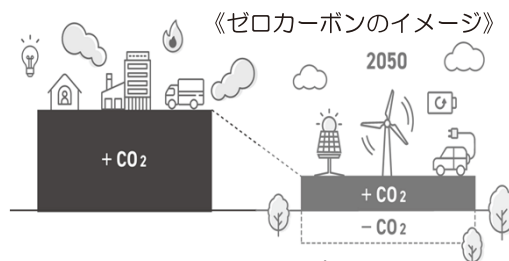
「ゼロカーボン・うんぜん」実現に向けた、具体的施策展開計画として地球温暖化対策実行計画（事務事業編・区域施策編）を改定します。

【事務事業編】

市の事務や事業を行うことで排出される、温室効果ガス排出量削減に取り組む計画です。

【区域施策編】

市の区域全体の自然的、社会的条件に応じて、温室効果ガス排出量削減を推進するための総合的な計画です。



「温室効果ガス」には様々なものがありますが、主なものとして、二酸化炭素やメタンなどがあります。

③社会基盤と環境

生ごみ処理機器等購入費助成事業

389万円

(担当：環境水道部 環境政策課)

可燃ごみの中でも含水率が高く、焼却効率が悪い生ごみの資源化処理を推進することにより、ごみの減量化、資源化を図るとともに、ごみ問題に対する市民の関心を高めていきます。

●事業内容

生ごみ処理機器等を購入する際に、費用の一部を助成します。(補助率1/2以内)

【家庭用生ごみ処理機器等】

- 生ごみ処理容器(資材付き含む)
各世帯2個まで(上限5千円)
- 生ごみ処理機(資材付き含む)
各世帯1台まで(上限4万円)
- ダンボールコンポスト(資材付き含む)
各世帯年間2セットまで(上限1千円)

【事業所用】

- 生ごみ処理機
各事業所1台まで(上限100万円)



③社会基盤と環境

富津漁港大浜海岸緊急自然災害防止対策事業【新規】

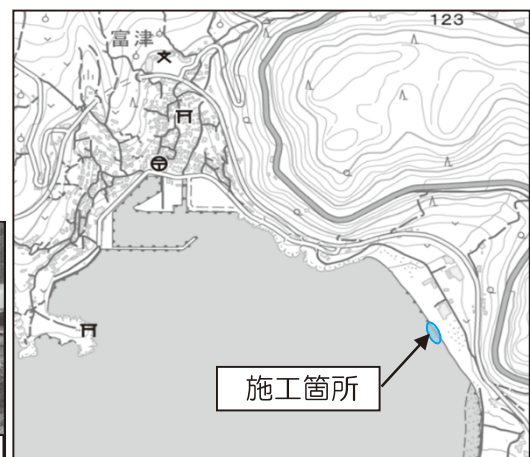
1,500万円

(担当：農林水産部 農漁村整備課)

富津漁港海岸の大浜地区(小浜町)は、近年高潮や台風による大きな波が護岸を越えて押し寄せ、背後地にある水産加工施設等が被害を受けている状況であるため、高潮対策を行い、生命・財産の安全を確保します。

●事業内容

- ・事業期間
令和5年度～令和7年度
- ・内容
全体計画 ○工種 消波ブロック設置
※本年度は、測量・調査・設計業務を予定しています。



(担当：建設部 建築課)

老朽化等による危険な空き家・空き建築物の除却を行う方に対し、除却費の一部を補助することにより、安全・安心な住環境づくりを促進します。

●事業内容

〈補助対象建築物〉

現在、使用されていない木造または鉄骨造で、国が定める
評点100点以上となる危険な空き家及び空き建築物
空き建築物にあつては、上記に加え、周辺の住環境を悪化
させ、若しくは公衆の安全の確保に著しい支障をきたすお
それがあるもの

〈補助対象者〉

- ① 建築物の所有者
- ② 相続人
- ③ ①または②の方から除却について同意を受けた方

〈補助対象経費〉

次のいずれか少ない額

- ①解体・運搬・処分に要する費用の8/10
- ②国が定める除却工事費により算定した額の8/10

〈補助金額〉

空き家 補助対象経費の1/2 (上限額：50万円)
空き建築物 補助対象経費の1/4 (上限額：20万円)



注：同一敷地に、空き家、空き建築物が別の建物としてある場合や、以前、老朽危険空家除去費補助金の交付を受けた方についても、それぞれの建物ごとに補助金申請は可能です。
なお、補助対象となるかどうかの事前調査は、随時行っておりますので建築課へお問合わせください。

③社会基盤と環境

市道 国見塩屋下原線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 120m



(出典：国土地理院 地理院地図)

終点側



起点側



③社会基盤と環境

市道 瑞穂大川高田線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 128m



(出典：国土地理院 地理院地図)

終点側



起点側

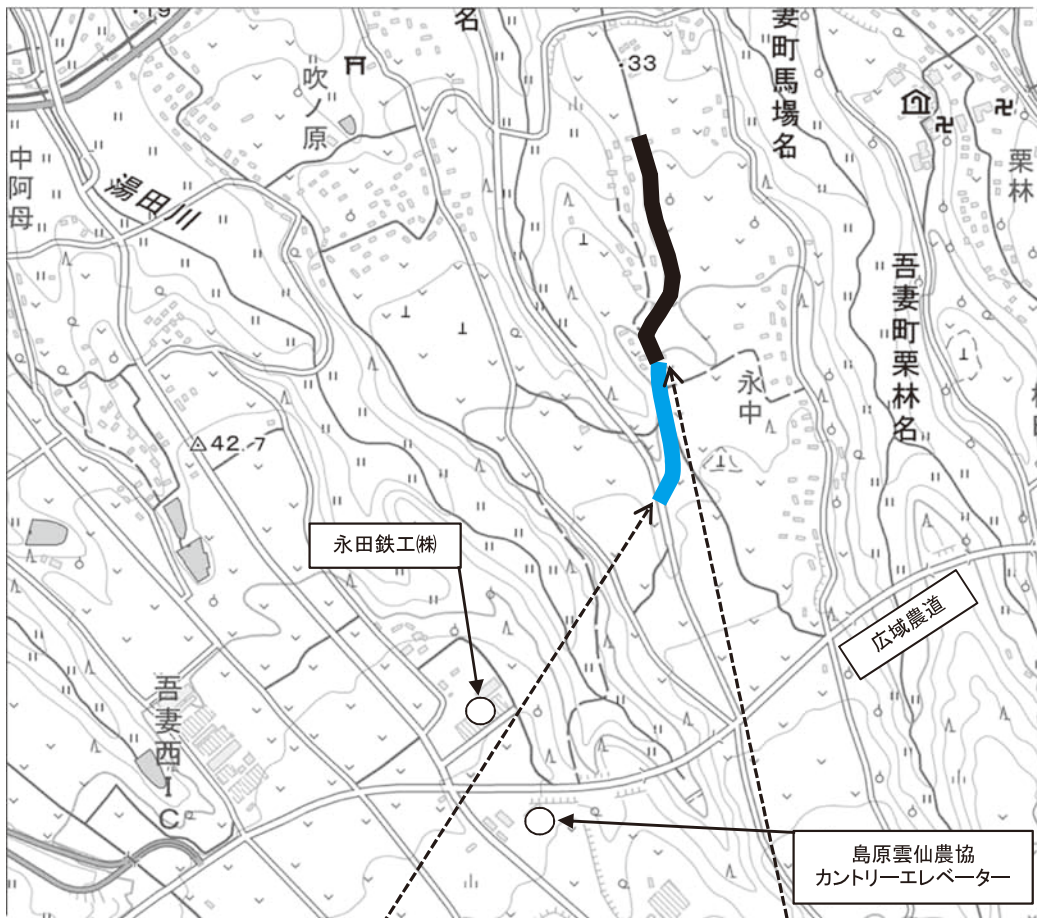


③社会基盤と環境

市道 吾妻河内線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 測量を委託して、工事に必要な図面などを作成します。



(出典：国土地理院 地理院地図)

終点側

起点側



③社会基盤と環境

市道 愛野本町線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 26m



(出典：国土地理院 地理院地図)

終点側



起点側



③社会基盤と環境

市道 千々石釜岳線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事（舗装改良） 長さ 488m



(出典：国土地理院 地理院地図)

終点側

起点側

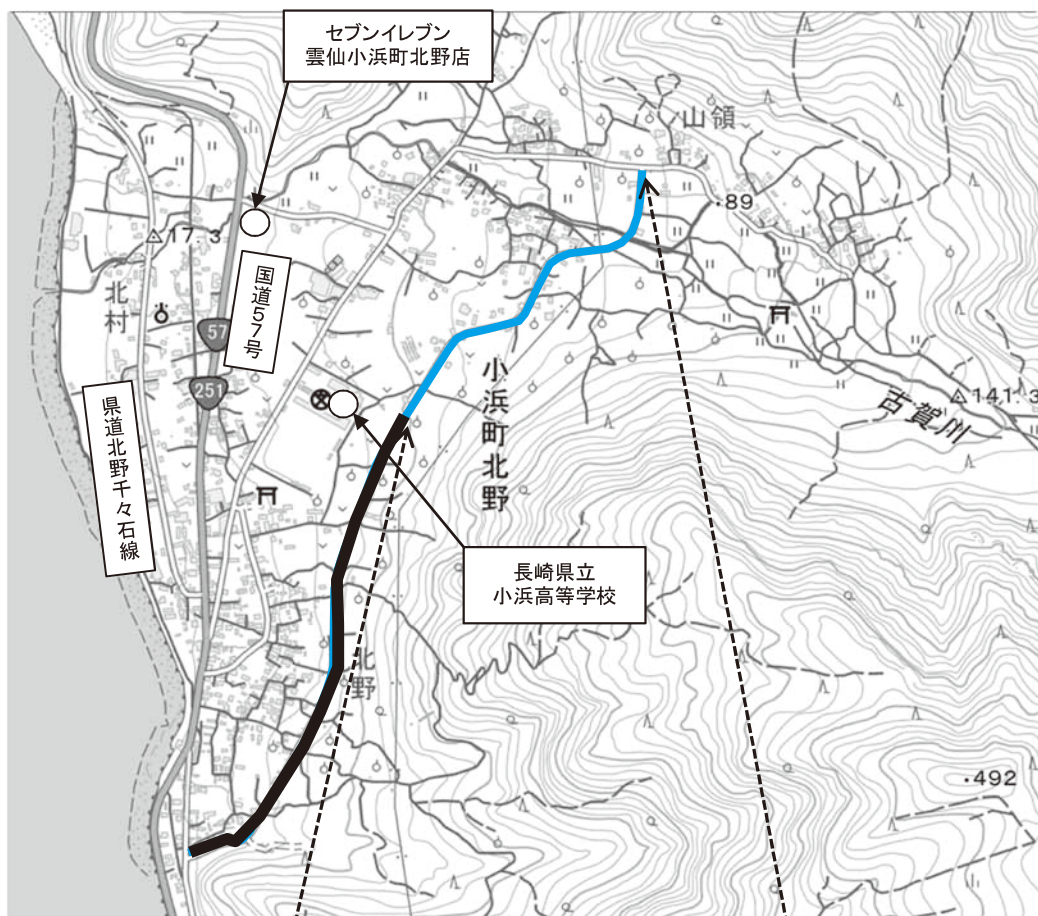


③社会基盤と環境

市道 小浜石合山領線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事（側溝改良） 長さ 562m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側



③社会基盤と環境

市道 南串山樫峯線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 87m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側



③社会基盤と環境

小浜 普通河川原池川改良事業

(担当： 建設部 道路河川課)

●事業内容 河川改修工事 長さ 100m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側



④人財と郷土

小・中学校教育環境整備事業

4,585万円

(担当：教育委員会 総務課)

学校において、児童生徒がタブレット端末を用いた授業を効果的に行えるよう、学習支援ソフト等の更新を図るとともに、老朽化した電子黒板の更新を行います。

●事業内容

児童・生徒一人ひとりに貸与するタブレット端末で使用する学習支援ソフトや教室で使用する電子黒板の更新、ネットワーク機器の保守等を行います。

<更新するソフト等>

○学習ドリルや問題集ソフト

<情報システム関連業務>

○老朽化した電子黒板の更新

○ネットワーク機器等保守



④人財と郷土

小・中学校施設整備事業

2億4,148万円

(担当：教育委員会 総務課)

小・中学校における教育環境の向上と安心安全な施設の整備に向け、屋上防水や外壁等の施設の改修を行います。

●事業内容

①小・中学校施設大規模改修事業

- ・多比良小学校校舎屋上防水改修工事
- ・川床小学校屋外階段・体育館防水改修工事
- ・南串第一小学校校舎屋上防水改修工事
- ・瑞穂中学校校舎屋上防水等改修工事
- ・小浜中学校校舎屋上防水等改修工事実施設計業務

②小・中学校施設単独整備事業

- ・多比良小学校屋外トイレ改修工事など
- ・児童生徒の危険回避や教育環境改善のため施設等の修繕

③小・中学校施設環境改善交付金事業

- ・小浜小学校屋内運動場外壁改修工事
- ・南串第一小学校校舎外壁改修工事実施設計業務
- ・瑞穂中学校校舎外壁改修工事実施設計業務



小浜小学校体育館



南串第一小学校校舎（屋上）

④人財と郷土

社会教育施設整備事業

1億4,859万円

(担当：教育委員会 生涯学習課)

文化と教養の拠点として活用されている社会教育施設の改修を行い、利用者の利便性と安全性の向上を図ります。

●事業内容

- 国見町文化会館駐車場測量設計業務
- 国見町文化会館外壁・屋上防水改修工事
ほか



④人財と郷土

社会体育施設整備事業

6,855万円

(担当：教育委員会 スポーツ振興課)

各種スポーツやレクリエーションの拠点として活用されている社会体育施設の改修等を行い、利用者の利便性と安全性の向上を図ります。

●事業内容

- 愛野運動公園グラウンド照明改修工事
- 遊学の館屋根改修工事

ほか



⑤協働と戦略

シティプロモーション推進事業

2,415万円

(担当：総務部 広報推進課)

市内外に向けて、雲仙市の知名度や好感度を向上させていくような情報を発信していきます。

市の広報紙やホームページ、電子看板（デジタルサイネージ）など既存の媒体に加え、新たに民間事業者が持つ多様な媒体（動画、新聞など）を活用していきます。

●事業内容

「住み続けたい」「戻ってきたい」など、雲仙市民で良かったと誇りに思ってもらえるような市民向けプロモーションと、「選ばれるまち」になるための市外向けプロモーションを組み合わせ展開していきます。



各総合支所などに電子看板を設置しています。市内の風景やイベント情報などを発信中！

⑤協働と戦略

行政デジタル化推進事業

7,634万円

(担当：総務部 行革推進課)

デジタル技術を活用し、定型的業務を中心とした市役所業務を効率化することで、職員が住民サービスに向き合う時間を増やし、サービスの向上を図ります。

●事業内容

- マイナンバーカードを活用してコンビニなどの店舗において住民票などの交付を行う“コンビニ交付”の導入
- 市役所窓口における申請の簡素化を図る“書かない窓口”の導入
- 申請から使用料の支払いまでをオンライン上で完結できる公共施設予約システムの導入

⑤協働と戦略

マイナンバーカード交付推進事業

2,192万円

(担当：地域振興部 総合窓口課)

デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの普及促進を図るとともに、マイナンバーカードに係る事務を円滑に行います。

●事業内容

- 本庁、各総合支所の窓口体制の強化
- マイナンバーカード出張申請業務委託 ほか



⑤協働と戦略

愛野農業研修センター運営費

1,805万円

(担当：農林水産部 農林課)

施設の老朽化に伴い令和4年3月末に閉館した、愛野農業研修センターの解体工事を実施します。

●事業内容

愛野農業研修センターの解体工事を実施します。



3 ゼロ予算事業

ゼロ予算事業とは、職員の創意工夫によって、既存の人材や施設等をうまく活用し、特段の予算を必要としない事業のことです。
令和5年度は、16事業を予定しています。

- ①相談窓口（1事業）
- ②出前講座など（6事業）
- ③維持管理（3事業）
- ④その他（6事業）



区分	事業名	事業内容	担当課
相談窓口	遺言・契約等法律相談所開設事業	公証人が、奇数月の第2火曜日に相談所を開設し、遺言、相続、離婚、養育費などの相談に応じます。	地域づくり推進課
出前講座	雲仙市の台所事情出前講座	自治会などからの要請に応じて、財政運営・財政状況の出前講座を行います。	財政課
出前講座	自主防災組織出前講座	自治会などからの要請に応じて、自主防災組織の活動支援や防災に関する出前講座を行います。	危機管理課
出前講座	福祉介護出前講座	自治会・団体などを対象とした、福祉サービスや介護予防などに関する出前講座を行います。	福祉課
出前講座	環境学習出前講座	自治会・学校などの要請に応じて、正しいごみの分別など、ごみに関する説明会を行います。	環境政策課
出前講座	農業出前講座	10人以上で構成された自治会・団体等への農業講座メニューの中から、希望する出前講座を行います。	農林課
出前講座	未来の担い手事業	市内小中学校を訪問して、雲仙市の主幹産業である農林水産業に関する講座、食育活動を行います。	農林課、 農漁村整備課
維持管理	雲仙グリーンロード点検事業	雲仙グリーンロードの点検、鳥獣死骸処理を行います。	農漁村整備課
維持管理	市道吾妻平木場線道路公園除草事業	市道吾妻平木場線道路公園（干拓堤防道路との交差点部）の除草作業などを行います。	監理課、 道路河川課
維持管理	環境美化事業	庁舎周辺の除草作業や空き缶、ごみなどの清掃作業を行います。	各総合支所
その他	グループ交流促進事業	「人も企業もつながる」をコンセプトに、県内企業・団体に所属する独身の方々のグループ交流を促進します。	地域づくり推進課
その他	時間外窓口交付事業	予約された人に対して、住民票、税証明書などの時間外の交付を行います。	総合窓口課、 税務課
その他	租税教室事業	市内小中高校を訪問し、税の仕組みや役割などを、ビデオ・クイズなどを交えてわかりやすく説明します。	税務課
その他	古着や本の無料配布	ストックハウス等で回収した状態の良い古着や本を、「雲仙市産業まつり」会場で無料配布します。	環境政策課
その他	企業メール配信事業	商工業などに関する情報を年3回程度、登録業者へ電子メールによる情報配信を行います。	商工労政課
その他	市内小中高校への選挙器材貸出事業	市内小中高校の生徒会選挙時などに、実際の選挙で使用する器材を貸し出し、投票への意識向上を図ります。	選挙管理委員会

4 資料編

- (1) 雲仙市の通知表（県内13市財政状況比較表）
- (2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費
- (3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道



(1) 雲仙市の通知表 (県内13市財政状況比較表(令和3年度決算ベース))

	歳出額		標準財政規模		財政力指数	
	市名	百万円	市名	百万円	市名	指数
1	長崎市	255,101	長崎市	103,033	大田市	0.63
2	佐世保市	138,658	佐世保市	61,784	長崎市	0.58
3	諫早市	73,827	諫早市	35,252	諫早市	0.56
4	大田市	58,527	大田市	21,739	松浦市	0.54
5	南島原市	35,988	南島原市	17,747	佐世保市	0.53
6	雲仙市	35,274	対馬市	17,581	島原市	0.44
7	五島市	34,910	五島市	16,806	西海市	0.29
8	対馬市	33,428	雲仙市	16,666	雲仙市	0.28
9	平戸市	27,860	平戸市	13,584	南島原市	0.25
10	島原市	25,232	杵岐市	12,931	平戸市	0.24
11	西海市	24,690	西海市	12,391	五島市	0.24
12	杵岐市	23,804	島原市	11,936	杵岐市	0.22
13	松浦市	19,571	松浦市	9,742	対馬市	0.19



	経常収支比率		実質公債費比率		将来負担比率		地方債現在高 (対標財率が低い順)			積立金現在高 (対標財率が高い順)		
	市名	%	市名	%	市名	%	市名	百万円	対標財 %	市名	百万円	対標財 %
1	雲仙市	82.5	南島原市	-4.8	雲仙市	-	南島原市	22,193	125.0	雲仙市	22,351	134.1
2	西海市	83.9	西海市	-1.8	佐世保市	-	雲仙市	23,666	142.0	西海市	16,432	132.6
3	平戸市	84.4	平戸市	1.5	島原市	-	諫早市	50,751	144.0	平戸市	13,488	99.3
4	南島原市	86.2	島原市	3.3	諫早市	-	西海市	19,802	159.8	対馬市	16,516	93.9
5	対馬市	86.5	雲仙市	3.8	大田市	-	佐世保市	107,145	173.4	南島原市	16,403	92.4
6	松浦市	87.0	佐世保市	4.5	平戸市	-	大田市	42,403	195.1	五島市	15,519	92.3
7	諫早市	88.0	諫早市	6.5	五島市	-	平戸市	26,723	196.7	大田市	17,601	81.0
8	五島市	88.4	対馬市	6.6	西海市	-	松浦市	19,184	196.9	松浦市	7,076	72.6
9	杵岐市	89.0	杵岐市	6.6	南島原市	-	島原市	23,746	198.9	杵岐市	9,247	71.5
10	佐世保市	90.3	五島市	7.5	長崎市	98.0	杵岐市	26,296	203.4	諫早市	24,159	68.5
11	島原市	90.4	長崎市	8.8	松浦市	48.1	五島市	37,962	225.9	島原市	6,916	57.9
12	長崎市	91.7	大田市	9.0	杵岐市	22.8	対馬市	42,843	243.7	長崎市	45,482	44.1
13	大田市	92.7	松浦市	10.8	対馬市	11.5	長崎市	274,869	266.8	佐世保市	23,170	37.5

※対標財とは、標準財政規模に対する比率のことです。

●標準財政規模とは

地方公共団体が通常の状態、毎年経常的に収入が見込まれる一般財源(自由に使えるお金)の総額のことです。

●財政力指数とは

財政力の強弱を示すものであり、一般財源必要額に対して市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを測るもので、指数が高いほど裕福な団体であり、1以上の地方公共団体は、普通交付税の不交付団体となります。

●経常収支比率とは

人件費・扶助費・公債費などのように毎年度経常的に支出する経費に、地方税・地方交付税などの経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率で、この指数が小さいほど、財政的に弾力性があるといえます。

●実質公債費比率とは

借入金(市債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す比率で、この比率が高まるほど、財政の弾力性が低下します。

●将来負担比率とは

地方公共団体の一般会計の借入金(市債)や将来支払っていく可能性のある負担などの、現時点における残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

●地方債現在高とは

地方公共団体が借り入れてきた地方債の累積額を表しており、これにより、今どれくらい未返済の借金が残っているかがわかります。

●積立金現在高とは

地方公共団体が将来必要となる財源に充てるため積み立てた資金(基金)の累積額であり、いわゆる貯蓄(貯金)と同じ意味合いで、今どれくらい蓄えがあるかがわかります。

(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした社会保障4経費 その他社会保障施策に要する経費

「社会保障4経費」とは、社会保障制度として確立されている「年金」「医療」「介護」並びに「子ども・子育て支援」のための施策に要する費用のことです。平成26年4月1日から施行された消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴い、増収となった地方消費税交付金については、その用途を明確化し、これらの社会保障経費に充てるものとされています。

令和5年度一般会計当初予算における社会保障経費への充当状況については、下記のとおりです。

(歳入)

地方消費税交付金(社会保障財源化分) 629,737 千円

(歳出)

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 11,526,614 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

事業名	令和5年度 当初予算額	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	地方債	その他	社会保障財源化分の 地方消費税交付金	その他
社会福祉	9,250,535	5,238,459	49,400	295,766	442,489	3,224,421
社会保険	1,280,135	379,759	0	20,716	106,149	773,511
保健衛生	995,944	21,354	37,400	265,127	81,099	590,964
合 計	11,526,614	5,639,572	86,800	581,609	629,737	4,588,896

● 『社会福祉事業』とは

生計の困難な方や心身に障がいのある方に対する援助など、国民の生存権を確保することによって、国民生活の内容を豊かにする事業を意味します。

【具体例】生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障がい者福祉など

● 『社会保険事業』とは

法令に基づき実施される国民健康保険、年金などの制度に関する事業を意味します。

【具体例】国民健康保険、介護保険、年金など

● 『保健衛生事業』とは

国民の健康を保つための事業を意味します。

【具体例】医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など

(3) 令和5年度当初予算における「ふるさと納税寄附金」の使い道

「ふるさと納税」とは、生まれ育ったふるさとや好きな自治体を、寄附を通じて応援できる制度です。寄附をすることで所得税・住民税の控除を受けられるほか、自治体のまちづくりを支援することができます。

本市では、ふるさと納税による寄附金の使い道について、雲仙市総合計画の基本方針に基づく下記のメニューを設定し、寄附の際にその使い道を選んでいただくことで、寄附者の皆さまの意向に沿ったまちづくりを行っています。

令和4年1月～12月にかけて、全国各地から7億5,735万5千円(64,216件)もの寄附金をいただきました。この寄附金は「雲仙市ふるさと応援基金」に積み立て、令和5年度において下記の事業の財源として活用させていただきます(最終的な活用実績は、年度終了後に市のホームページにて公開します)。

【令和5年度雲仙市当初予算 ふるさと納税寄附金活用予定事業】

基本方針		寄附額	活用予定事業
①	暮らしと安心 安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり	4億456万1千円	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進対策事業 (担当課：地域づくり推進課) 結婚応援事業 (担当課：//) 予防接種事業(子ども支援課) (担当課：子ども支援課) 妊婦乳幼児健診事業 (担当課：//) 保育園等副食費助成事業 (担当課：//) 福祉医療費支給事業 (担当課：//) 民間保育所障害児保育事業 (担当課：//) 民間教育・保育施設給付事業 (担当課：//) 健康診査事業 (担当課：健康づくり課) 予防接種事業(健康づくり課) (担当課：//)
②	産業と交流 雇用を生み出す産業づくりと人を呼び込む観光地域づくり	7,546万3千円	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者活動支援事業 (担当課：農林課) 農地保全事業 (担当課：農漁村整備課) 雲仙観光局補助金 (担当課：観光物産課)
③	社会基盤と環境 社会基盤の整備と自然環境と調和したまちづくり	4,368万6千円	<ul style="list-style-type: none"> 道路橋りょう維持管理費 (担当課：道路河川課) 不法投棄対策事業 (担当課：環境政策課)
④	人財と郷土 将来を担う人財づくりと歴史と文化が輝く郷土づくり	3,443万4千円	<ul style="list-style-type: none"> スクールサポーター配置事業(小学校) (担当課：学校教育課) スクールサポーター配置事業(中学校) (担当課：//) 読書活動振興事業 (担当課：生涯学習課)
⑤	協働と戦略 市民一人ひとりが主役の協働のまちづくりと効率的で戦略性を持った行財政運営	823万2千円	<ul style="list-style-type: none"> 自治集会所等整備費補助金 (担当課：地域づくり推進課) ふるさと応援推進事業 (担当課：観光物産課)
⑥	その他(※)	1億9,097万9千円	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策事務費 (担当課：危機管理課) 結婚応援事業 (担当課：地域づくり推進課) ふるさと応援推進事業 (担当課：観光物産課) 雲仙観光局補助金 (担当課：//) 道路橋りょう維持管理費 (担当課：道路河川課) 読書活動振興事業 (担当課：生涯学習課)

※⑥「その他」に寄附をいただいた分については、①～⑤の事業の中から市長がどの事業に活用するかを決定しています。

令和4年寄附額 合計	7億5,735万5千円	寄附件数：64,216件
------------	-------------	--------------

【参考】

令和3年 寄附額	令和2年 寄附額
6億1,090万1千円	2億5,113万2千円

寄附をいただいた皆さまの雲仙市への温かいご支援に心からお礼申し上げます。



風車とじゃが畑（愛野町）

令和5年度 雲仙市予算説明書

知っておきたい 雲仙市のしごと



長崎県雲仙市

財務部財政課

〒859-1107 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地
TEL 0957-47-7781 FAX 0957-38-3514
HP <https://www.city.unzen.nagasaki.jp/>